

連続講座「日本盆栽、小さな巨木—盆栽から BONSAI へ！

その愉しみを知る通史」全3回

第1回 古代から室町まで—神仙思想から東山文化—



わかりやすく奥深い盆栽の歴史講座です！

盆栽とは何か？中国の盆景が平安時代に日本に伝わり独自の発展をしました。他の日本文化と同じく明治の近代化により生活文化から芸術文化に確立し、現在世界の共通語になった BONSAI は日本の盆栽を指します。魅力を感じつつも玄人好みで難しい印象がある盆栽を、今回の講座では、古代から現代までの通史を通して、深く、そしてわかりやすく学びます。そして「自分好み」も探りましょう。講師は若手盆栽研究家の第一人者、川崎仁美さん。禅宗とともに平安時代に日本にやってきた高貴な盆栽から、江戸時代の大名から大衆までが熱狂した大園芸ブーム、海外からの視線を取り込んだ現代の作品までダイナミックに解説します。記念すべき連続講座の第1回目、ぜひご取材くださいませ！

開催日：2020年1月26日(日)

開催時間：14:00～16:00

料金：3,800円

会場：無鄰菴 母屋2階

定員：20名(要予約)

講師：盆栽研究家 川崎仁美

【お問合せ・ご予約】無鄰菴窓口もしくはお電話、ホームページにて承っております。

TEL：075-771-3909 または <https://murin-an.jp/events/>

受付時間 9時00分～17時00分

【無鄰菴の理念】

庭園は、人が集いアクティブに利活用することで真の姿を見せてくれると私たちは信じています。庭は使ってこそ価値が生まれます。皆様のご参加が、庭園文化を育みます。

【無鄰菴とは】

無鄰菴は、明治27（1894）年～29（1896）年に造営された明治・大正時代の政治家山縣有朋の別荘である。無鄰菴は庭園と母屋・洋館・茶室の3つの建物によって構成されており、庭園は施主山縣有朋の指示に基づいて、七代目小川治兵衛により作庭された自然で開放的な空間の庭園として高い評価を受けている。母屋は簡素な木造2階建ての建物で、洋館は新家孝正の設計による煉瓦造り2階建ての建物。茶室は古田織部好みの代表的茶室である、藪内流燕庵を模して作られた。

昭和26年には、近代の名園として国の名勝に指定されている。



【植彌加藤造園株式会社（指定管理者）について】

創業嘉永元年(1848年), 初代加藤吉兵衛が大本山南禅寺の御用庭師を務めて以来, 洛東鹿ヶ谷にて代々造園業を営み, 史跡名勝の指定を受けている文化財庭園の維持管理, 寺院庭園・別荘庭園・公共庭園の伝統技法による整備, 管理とともに, 各種住宅庭園の施工管理を手掛ける。

無鄰菴においては, 過去8年間(平成21年度を除く), 庭園管理を継続しており, 平成28年4月1日からは指定管理者として全体の管理運営を担っている。